

保育心くあか

福岡市長 高島 宗一郎 氏 書

編集・発行 一般社団法人福岡市保育協会 福岡市中央区荒戸3丁目3-39 福岡市市民福祉プラザ6F 発行者 増本律秀 編集者 有松 徹



【写真を提供していただいた保育園】
信明保育園、みやたけ保育園、脇山保育園

vol.130 令和5年度 1号

理事長・副理事長挨拶	2~3
協会役員、事務局、保育士会の紹介	3
市長より「日本一子育てしやすいまちを目指して」	4~5
九州保育三団体研究大会福岡市大会	6

私の園の取り組み	7
コラム	8
編集後記	8



理事長あいさつ

城浜保育園園長 増本 律秀



今年度より2年間、理事長を再任させていただきました。どうぞよろしくお願いたします。今期も理事が大幅に交代することになりましたが、新理事の方々を適材適所各部に配属させていただき大変心強く思っております。今年、4年ぶりに九州保育三団体の大会が福岡で開催される予定もあり、これから新理事一同、理事会の運営を強化しながら一糸乱れず、一丸となって福岡市保育協会の運営に尽力していこうと考えております。

しかし、保育協会は会員お一人お一人が主役でありますので、皆様よりご意見、ご要望等を頂きながら、協会が皆様の法人、施設運営にとってお役に立てるものにしていきます。

いと思えます。

さらには、協会と関係の深い保育士会や青年部そして協会事務局の皆さんとも連携や信頼関係を深め、協会の事業を協力して運営しながら、次世代のリーダーを育成することにも目を向けていきたいと思えます。そして、福岡市当局とも親密にコンセンサスをとりながら、これからの福岡市の保育運営について車の両輪として協力体制をより強化していきたいとも考えております。

さて、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けが5類に変更され、園で感染者が出た場合もインフルエンザと同じ対応になり、今までのような大きな影響を及ぼすことがなくなりました。日頃の保育で感染防止に神経を擦り減らして対策を講じていたことを、我々の本来の目的である保育に集中できるようにしたことは、大変喜ばしいことです。

一方令和4年度は、出生数が80万人を割り、少子化が予想よりも加速しています。福岡市においても、令和5年4

月1日で定員割れしている保育園が6割を占め、今後もこの傾向が続くと予想されます。

このような状況を反転させるために、令和5年度より「こども家庭庁」が創設され、6月に具体的なこども施策が骨太方針の中に盛り込まれました。又、「こども基本法」に基づく「こども大綱」が秋に閣議決定され「こども・子育て支援加速プラン」として、今後3年間を「集中取り組み期間」に位置づけ(1)経済的支援強化(2)幼児教育や保育などのサービスの拡充(3)働き方改革等を進める方針です。

さらに令和6年4月には改正児童福祉法が施行され、保育所・認定こども園等が地域において相談支援機能を発揮すること、いわゆる「かかりつけ相談機関」としての役割が求められるなど、保育所・認定こども園等に対する役割や期待は大きくなっています。

子どもの安心・安全を守ることはもちろん、様々な保育をめぐる動向や、保育者に求

められることを常に意識し、認識を深めるとともに、保育の社会的な意義・役割をあらためて確認したうえで、取り組みを日々充実させてまいりましょう。

今年度も福岡市保育協会の円滑、かつ充実した運営のために皆様のご協力をお願いいたします。

副理事長紹介

田島保育園 高田 史敬



こぐま保育園 松本 みほ



福岡市保育協会 理事会組織とメンバー

総務部



部長 古賀良和(光和) 宮岡 誠(桜坂) 岡 七生子(ひかり) 佐野正人(香住ヶ丘)

研修部



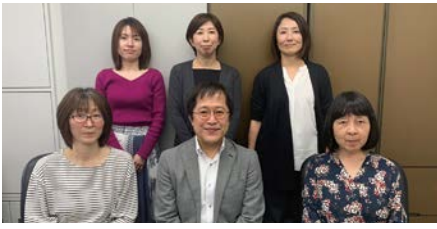
部長 安本祥子(みそら) 手島恵美子(しもやまと) 上里利香(堅粕) 田中美日(西都) 松枝智子(高取)

予算運営管理部



部長 田代健太郎(つくし) 巖水瑠華(南片江) 春田雅孝(中比恵ソレイユガーデン)

協会事務局



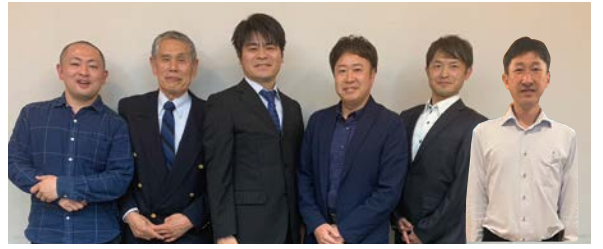
日野那々子・中村昌子・福川しのぶ
事務局長
宮原悦子・河口晴好・赤木ひとみ

監事



酒瀬川秀穂(和白青松園)・蒲池知佳子(新星)

広報調査部



部長
楠野吉弥・古川保汰・有松 徹・高木禎晋・吉岡大作・杉内 博
(観音寺) (長住) (原中央) (元岡きらきら) (まことなぐずみ) (サンタランド)

福岡市私立保育士会
会長挨拶

皆様、こんにちは。福岡市私立保育士会です。役員改選が行われ、令和5年度の体制が整いました。今年度は、というか、ここ数年の傾向ですが、主任保育士の先生のご退職、ご昇任と、毎年増え続けてきた新設保育園さんの加入といった状況から、若手で新人の主任保育士さんが区の代表の役員として出てこれられ、ご活躍くださるという機会が大変多くなりました。

若いパワーで意欲的に取り組まれ、また、発想の転換ともいえる新しい視点のご意見も聞かせてくれます。なんとも頼もしい限りですが、古株にももちろんのこと、かけがえのないものがたくさんあります。一番は歴史を知っていることです。

昭和31年に結成された保母会。福岡市の保母会(当時)は昭和37年に形作られていたというのですから、情報キャッチの速さと行動力に驚きです。当時は園数が少なく、園長会とともに活動を行っていたとか。ここから歴史が始まり、歴代会長さんのご尽力により、活動の充実と会員数増大が図られました。

古株にはこのような歴代会長さんとのネットワークがあり、ご相談を差し上げ、御指南いただくことができます。年齢層やキャリアの幅など幅広く混合し、多様な考え方ももって運営していくことのできる現在の役員体制はベストと言えるのかもしれませんが。だからこそ、園長先生方におかれましては、「役員？断りんしゃい！」なんておっしゃらずに、誇らしいこととして背中を押して差し上げてください。それぞれの持ち味で活躍され、さらに役員としての経験が資質向上にも必ずつながります。全国保育士会をはじめ、九社連・県保協保育士会ともつながって、多くの情報をリアルタイムに得ることもでき、何よりも多くの仲間との支え合いから知識や情報がより役立つものとなるのです。各園の先生方も精鋭の主任さんに外勤されると困るという場合もあるかと思いますが、園の保育の向上のため、いや、すべての園の、すべての子どもたちのために、ぜひ応援してあげてください。

子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子どもと子育てにやさしい社会を作る、保育士会の活動。今年も頑張りますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

福岡市私立保育士会役員名簿(令和5年度)

会長	平野理江	(第3中央夜間保育園)
副会長(総務部)	玉井博子	(玉川保育園)
副会長(総務部)	宮川加央理	(やまのみ保育園)
副会長(研修部)	三浦満里恵	(たんぼぼ保育園)
副会長(研修部)	山田基寛	(笹丘セレーナ保育園)
会計リーダー	白水里枝	(あさひ保育園)
会計副リーダー	井嶋美和子	(平和ちとせ保育園)
会計	平田真由美	(東清水保育園)
会計	岩瀬三津	(第二オーブ保育園)
会計	野中直美	(福岡舞鶴誠和第1保育園)
企画	伊藤玲	(姪浜もみじの森保育園)
企画	保永恵	(みんなの劇場保育園)
企画	田村彩乃	(すみわたる保育園)
広報	井手寿美子	(協山保育園)
書	丸尾友紀	(吉塚カトリック保育園)
書	古賀廣子	(志賀島保育園)

運営リーダー	黒瀬真由美	(のため保育園)
運営副リーダー	犬塚直美	(慈光保育園)
運営	西美穂	(博多ビノキオこども園)
運営	下田佐智子	(屋形原保育園)
運営	松尾美智子	(塩原天星丸保育園)
運営	荒牧正子	(ここ葉保育園)
主任保育士研究会委員長	大西栄理	(太陽保育園)
給食研究会委員長	平田あゆみ	(今宿保育園)
顧問	荒川英子	(みとま保育園)
監事	飯田亜紀	(若草保育園)
監事	小幡悦子	(星の原田地保育園)



宮川副会長・玉井副会長・平野会長・三浦副会長・山田副会長



日本一子育てしやすいまちを目指して

福岡市長 高島宗一郎



福岡市保育協会におかれましては、平素から、未来を担う子ども

たちの健やかな成長のために、深い愛情と熱意を持って保育に取り組まれ、児童福祉の向上と保育行政の推進にご尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

この度、「保育ふくおか」に寄稿させていただくにあたり、改めて、福岡市の保育行政を振り返るとともに、今、子どもたちを取り巻く環境、そして子どもたちの未来をより良いものにしていくための子育て支援施策の方向性についてお話しさせていただきますと思います。

○待機児童解消に向けて

私が福岡市長に就任した2010年当時は、働く女性の割合が高くな

り、保育園を必要とされる家庭が右肩上がりが増加するなど、子育てを取り巻く社会環境が大きく変化していました。

全国的にも保育園不足による待機児童問題が大きな注目を集めており、人口増加が続く福岡市でも非常に大きな課題となっていました。具体的には、年度当初の待機児童数は500人近くにもなっていました。

もちろん、各保育園では、できるだけ多くの子どもを受け入れられるよう、様々な工夫をいただいていたが、それを上回るペースで市民のニーズが拡大していました。

保育園に入れるようにしてほしいという市民の声は、新しく就任した市長への期待でもあり、私としては、子どもたちの保育の質を守りながら、待機児童を解消することを重点施策と考え、保育所整備に、スピード感をもって取り組んでいくこ

とにしました。

実際、これまでにない規模の予算を振り向け、私が就任した後の12年間で約1万8千人分の整備を一気に進めました。

保育所が整備されると、保育士さんなどの雇用が生まれますが、これは保育の現場で働く人材の不足という課題と表裏一体でした。

そこで、福岡市ではいち早く、保育協会と行政とが連携し、様々なアイデアを出し合いながら、保育士確保策の検討を進めました。その過程で、未来を担う子どもたちに愛情をもって接してくれる保育士をどのように増やしていくか、質の高い保育を行っていくうえで何が大切なのかといったテーマで、現場の保育士さんの声も多数聞かせていただきました。

そうして、2017年度には、政令指定都市で初となる保育士への家賃補助をスタートしました。続いて、2019年度には、保育士資格取得のための奨学金の返済を行う方々に対する、返済助成をスタート

しました。

また、保育協会と一緒に定保育士養成施設等を訪問し、学生向けの就職PRと就職支援を実施するなど、保育人材の確保に努めてきました。

このようなハード面とソフト面の一体的な取り組みにより、2023年度当初の待機児童はゼロを達成することができました。

もちろんこれは、各保育園の皆様方のご尽力があったからこそ、なした成果だと思っています。施設の新設だけでなく、増改築や分園の設置、そこに必要な人材の確保など、本当に多大なご協力をいただきましたことに、この場をお借りして心からお礼を申し上げます。

○福岡市の新たなチャレンジ

2022年の出生数が過去最少の77万人となるなど、少子化は待ったなしの状況となっています。少子化は国全体として向き合っていないかなければならない問題ですが、地方を支える基礎自治体が、その機動力を生

かして積極的にチャレンジしていくことが非常に重要です。

国の制度改正の影響もあり単純比較はできませんが、現在、福岡市の子ども関連予算は、私が市長に就任する前の2009年度の2倍以上となっています。2023年度は「子育て応援予算」として、子育てや教育分野で過去最大となる2732億円を計上しました。

具体的な取組みとして、多子世帯の経済的負担を軽減するため、政令市では初めて、「第2子以降の保育料無償化」を実現しました。

また、障がいのある子を育てる家庭を支えるため、児童発達支援、障がい児入所支援や放課後等デイサービスなどの障がい福祉サービス利用料について、保護者の収入に関係なく、未就学児は完全無償化、学齢期は上限月額3千円とします。

さらに、子育て家庭の孤立化を防ぎ、安心して子育てができる環境づくりを進めるため、0〜2歳の子育て家庭を見守りながら毎月おむつな

どの育児用品をお届けする「おむつと安心定期便」をスタートします。

福岡市がこうしたチャレンジを行えるのは、これまでの経済政策で、都市が成長し、成長の果実である市税収入を着実に増やし、その財源を、子育て支援を始めとする生活の質の向上の分野へ還元していく仕組みを作ってきたからこそです。

一方、国でも、2023年4月1日に、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こども家庭庁が発足しました。若い世代が安心して子どもを生み育てられる環境をつくりだし、少子化のトレンドを反転させるために、次元の異なる少子化対策の実現に向け、様々な施策を進めることとしています。

6月に開催された「こども未来戦略会議」では、児童手当の所得制限撤廃や支給期間の拡充、育児休業の給付金の充実など、少子化の流れを食い止めるための施策の充実が検討されています。

今後の国の積極的な動きには強く

期待していますし、国、自治体が一体となって少子化という課題に立ち向かっていく必要があると考えています。

その中でも特に大きな動きが、親が働いていなくても保育所に子どもを預けることができる「未就園児の定期預かりモデル事業」です。

国が見据える「こども誰でも通園制度」の本格実施を前提に、2023年度からこのモデル事業を拡大していくこととされています

が、今回、福岡市が、全国に先駆けてモデル事業をスタートすることになりました。博多区、中央区、城南区の3か所で8月からのスタートです。保育所等の空き定員や空きスペースを活用して実施するこのモデル事業では、一般の保育所入所要件である就労要件などは関係なく、誰でも保育所を利用できる制度であり、家庭内保育を行っている親の育児負担を軽減し、他の子どもたちとの交流を通じて発達の促進を図る狙いがあります。

また、保育所の余裕スペースを児童発達支援事業所として活用する「子どもの発達支援体制の構築モデル」事業にも新たに取組むこととしております。

このように子育てを取り巻く環境は大きく変化しており、我々行政の役割、また、地域の子育てを最前線で担う保育園の皆様にも求められる役割も益々大きなものになっていくと考えております。

福岡市としましても、現場を預かる自治体として、積極的なチャレンジを続けていくとともに、福岡市保育協会の皆様とも密な情報交換を行い、しっかりと連携を図っていきたいと考えております。

今後とも、日本一子育てしやすいまちを目指し、皆様と共にチャレンジしていきたいと考えておりますので、引き続き、ご協力のほどよろしくお願ひします。

九州保育三団体 研究大会福岡市大会

令和2年に「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」というテーマのもと開催予定だった第7回九州保育三団体研究大会福岡市大会が新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となつて約4年が経ちました。この間、九州保育三団体研究大会は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け開催予定が相次いで中止となつていましたが、今年度、4年ぶりに福岡市で開催されます。開催が決定してから福岡市保育連盟と日本保育協会福岡市支部、保育協会青年部が中心となり実行委員会を立ち上げ、1200名の保育関係者が有意義な2日間を過ごせるよう会議を重ねています。

令和5年度はこども施策を総合的に推進することを目的とし、「こども基本法」が施行され、「こども家庭庁」が動き出しました。子どもが健やかに成長していく過程の中で、就学前の保育・教育は非常に重要であり、その責務を担っている保育所（園）・認定こども園は、常日頃から子どもたちが心から安心できる環境の中で、子ども一人ひとりの成長を願いながら「養護」と「教育」が一体となつ

た保育を行っています。新たな子ども施策の理念が、よりいっそう保育の質向上や職員の処遇改善につながることを心より願っています。

この研究大会も今回で7回目を迎えます。前回大会からの4年間に、待機児童対策人口減少対策、保育人材不足、新型コロナウイルス感染症、物価高騰、自然災害の多発など保育所（園）・認定こども園は様々な困難に直面しています。また、保育現場での痛ましい事故や子どもたちの安全・人権を脅かす事件などで、保育所（園）・認定こども園を見る社会の目が一層厳しくなっています。しながら、困難な時代だからこそ、子どもたちの一番近くにいる私たちが、子どもたちの視点に立ち、子どもたちの最善の利益のために進んでいかなければなりません。

子どもを取り巻く施策が大きく変わる節目の年に、常に変化し発展を続けている福岡市で九州の保育関係者が一堂に会する大会が開かれるのも何かのご縁だと思えます。たくさん保育を語る場を準備していますので、協会会員・準会員園の皆様にも大勢参加していただき、「すべての子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現」のために、充実した研究大会にしていきたいと思っています。ご協力をよろしく願います。

第7回九州保育三団体研究大会 福岡市大会

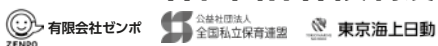
大会主題
「すべての子どもの権利と育ちを保障していく社会の実現」をめざして

開催要綱



- 開催期日：令和5年8月31日（木）・9月1日（金）
- 会 場：全体会 アクロス福岡
分科会 アクロス福岡・ホテルオークラ福岡
交流会 ホテルオークラ福岡4階 宴会の間
- 主 催：九州保育三団体協議会、福岡市保育連盟（福岡市公立保育所長会、一般社団法人福岡市保育協会、福岡市保育士会）、社会福祉法人日本保育協会福岡市支部
- 共 催：九州社会福祉協議会連合会、社会福祉法人福岡市市民会、社会福祉協議会
- 主 幹：第7回九州保育三団体研究大会福岡市大会実行委員会
（福岡市保育連盟、社会福祉法人日本保育協会福岡市支部）
- 後 援：こども家庭庁（総務省）、福岡県、福岡市、社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国保育協議会、同上、全国保育士会、公益社団法人全国私立保育連盟、社会福祉法人日本保育協会

【全私連推奨】各種団体保険制度



ほいくのほけん・こどもえんのほけん <small>保険期間が4月1日～12月31日（中途加入可能）</small> <small>【簡易賠償責任保険（新型コロナウイルス等対応費用補償特約付帯）】 【園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）】など、保育施設における最大リスクを補償する1套の主力保険制度です。</small>	やくいんのほけん <small>Web加入可能</small> <small>社会福祉法人の役員業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費用等のシミュレーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。</small>
えんじのほけん <small>Web加入可能</small> <small>在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能） 24時間おやすみ24時間おやすみをお守りする傷害保険【扶養者が万が一の場合の育児費用補償】など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品と比較して約65%の割引になっているため非常に割安な保険制度です。</small>	しょうがくせいのほけん <small>Web加入可能</small> <small>卒業児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能） 24時間のおやすみをお守りに加えて、自転車乗車等で義務化されている個人賠償責任保険など卒業後のリスクを補償します。本商品も一般的な保険商品と比較して約30%の割引になっているため割安な保険制度です。</small>

取扱代理店 **有限会社ゼンポ** TEL: 03-3865-3881 FAX: 03-3865-2806

引受保険会社 **東京海上日動火災保険株式会社** 担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このチラシは、このチラシに記載の簡易賠償責任保険・主業賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯賠償責任保険・会社役員賠償責任保険・シミュレーション費用補償特約付帯賠償責任保険・園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）の補償について記載したものであり、全ての補償を享受しているものではありません。保険の適用は各保険契約の「約款」をご確認ください。また、ご記入いただいた情報は、必ず「個人情報保護法」に基づき厳格に管理され、第三者への提供はいたしません。お問い合わせは、お問い合わせ先までお願いいたします。

公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ TEL: 03-3865-3881 FAX: 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに！
全国私立保育連盟推奨（総代理店）

きっずノート

導入費用 無料

「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿が見える化するアプリです。

- 保育者の業務省力化
- 子どもの学び・育ちの見える化
- 緊急時の連絡手段

正式利用お申込みの全施設 最大9ヵ月 利用料無料！

契約更新後も料金そのまま！ 年間一括利用料6万円 利用しやすい価格になりました！ 1ヶ月あたり 5,000円（税別）

※ただし、事業者利用規約の定めにより、昇格において利用料金が変更になる可能性があります。

詳しくはお問い合わせください。 <営業部・電話・優待>

私の園の取り組み

みやたけ保育園 佐藤 沙季

お別れ遠足「キッザニア」お仕事体験

卒園式を無事に終えた5歳児の子どもたちが楽しみにしていたのは、お別れ遠足でした。

今年は初めて「キッザニア」に行きました。

事前にグループに分かれて話し合い、どこのパビリオンに行きたいのか、友だち同士で決めました。また、グループの目印になるように、自分の似顔絵を描いてキーホルダーを作り、子ども達は準備からとても楽しみにしていました。

お別れ遠足当日、施設の中にはたくさんのお客様がいましたが、保育者についていながらも積極的にパビリオンを探したり係の方に声をかけたり、頼もしい子どもたちの姿が見られました。

警察署、カーデザインスタジオ、街時計（パフォーマー）、消防署等々、たくさんのお仕事体験を楽しむ中で、日頃見たこともない子ども達の真剣な表情や笑顔があふれ、あっという間に時間が経ちました。

その後は、屋上で楽しみにしていたお弁当やおやつを食べながら、友だちや保育者にキッザニアで体験したお仕事の様子を興奮ぎみに話してくれる姿がとても印象的でした。

屋上でもトラックを走ったり体を思い切り動かして、とても心に残る一日になりました。



信明保育園 高田 嘉代子

当園で永年取り組んでいる活動の一つに乾布摩擦があります。2才になると、保護者に細長くタオルを縫って乾布摩擦用のタオルを準備してもらいます。毎日、午前中にクラス皆で並んで、保育士の模倣をし、号令に合わせて体を擦っていきます。4・5才になると、保育士ではなく当番の号令に合わせて行っています。真冬でも上半身裸になり、元気よくかけ声をかけながら体を擦っていると「寒い寒い」と言いながら乾布摩擦を始めたのに、子どもたちの口からは「体が暖かくなった」の声も聞かれます。乾布摩擦の効果としては、体を擦ることにより免疫力が上がって風邪をひきにくくなるなどがあるとされています。又、紫外線の強い日、雨の日でも十分な身体活動ができるよう、園庭には紫外線カット生地の大型開閉式テントを設置しており、年間を通して朝8時過ぎから一時間程、戸外で異年齢児が関わりあって遊んでいます。雨の日、傘をさして通りを歩いている人の中には、子どもたちの元気な声に驚いた表情で立ち止まって見る方もいます。テントが設置される前までは、梅雨時期になると室内遊びが続き、子どももイライラした様子で嘔みつきが増えたり、真夏には日差しが強すぎて園庭に出ることさえためられていたのに、今は何も気にせず元気に遊ぶことができています。保育士自身、夏の暑さで食欲減退となることもなく、モリモリと食事を摂ることができ、子どもに負けない体力をつけているように感じます。これからますます暑くなりますが、今年の夏も、よく食べ十分な睡眠をとって乗り切りたいと思います。

まことながずみ保育園 若松 聡美

私たちの園は開園から2年目を迎え、初年度よりもより踏み込んだ“子ども主体”の保育を目指しています。

初年度は、年齢や経験年数も様々な職員が集まった中でスタートし、“主体性”の捉え方もそれぞれ違うこともあり、本当の主体性って何だろう？と試行錯誤しながら取り組んできました。しかし、なかなかうまくいかず悩んだり、対応の仕方に戸惑ったりする職員も多く、課題が沢山ありました。

そこで、朝礼と昼礼・月1回の職員会議の時間を設け、日々の困りごとや子ども達の様子を共有し合い、“子ども達にとってどうだったのか？”を議論したり、意見をすり合わせたりしながら少しずつ主体性への理解を深めていきました。まだまだ十分とは言えませんが、少しずつ先生達の意識や捉え方も変化し、子ども達の主体性を高める為には何が必要なのか？と考えて、保育環境の見直しや年齢やクラスにとらわれず、子ども目線で考える事で、声かけや援助の仕方が変わり、園全体で連携を取りながら保育を行える様になってきたと感じています。

また、職員の体制をしっかりと整える事で、職員一人一人の負担も軽減され、ゆとりをもって子どもたちと向き合いながら仕事に取り組むことができていると思います。

休憩時には外出をしたり、職員同士での会話や自分の好きな事をしたりと、子ども達から離れて過ごす時間や空間も大切にする事で、職員のリフレッシュや向上意欲にもつながっていると思います。



サンタランド保育園 小田 周代

私たちの保育園では、毎朝少しの時間を使って柔軟運動に取り組んでいます。これは、怪我を予防するだけでなく、体幹も鍛えられ、小学校に進学しても活かせる柔軟な体を育てるために取り組んでいます。

跳び箱を使った活動は、子どもたちの体力向上だけでなく、身体のバランスや協調性を育てる重要な要素となっています。跳び箱は単なる遊び道具ではなく、身体や空間の認識を深めるためのツールとして捉えています。

子どもたちは跳び箱に挑む際、勇気と冒険心を持ちます。初めて跳ぶときの不安や、高い段に挑むときの緊張、成功したときの喜びなど、これらの経験は子どもたちの心に刻まれ、自己肯定感や自信を培う手助けになります。

また、跳び箱は困難に立ち向かう貴重な経験になると確信しています。失敗や挫折を繰り返しながら、子どもたちは再び挑戦する勇気を養います。協力して跳び箱を乗り越えることで、友情や協調性の大切さも学びます。

私たちの保育園では、跳び箱や柔軟活動を通じて子どもたちが貴重な経験を積むことを大切にしています。これらの経験が彼らの成長や将来の成功に深く影響を与えると信じています。



コロナ禍 妊娠期から就学前まで 切れ目のない子育て支援を

南片江保育園 園長 巖水瑠華

今、子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化し続けています。出生数が80万人を割る中、「50年後に日本の人口が8000万人台まで減少する」という昨今のニュースは、児童福祉に携わる私たちにとって大いに憂慮すべき課題として目の前に立ちはだかりました。

今年で開園3年目を迎える当園は、大分県大分市に所在する法人から新設園として開園されました。コロナ禍での開設準備は想像以上に大変でイレギュラーな対応も多く、園舎建設の工程会議や職員の採用活動も苦労しました。現在、定員を超える119名の園児さんをお預かりしており、さぼりと保育の対象児、医療的ケア児、その他、多国籍の子どもやLGBTQ+に該当する子ども、被虐待児の受け入れも行ってきました。

私自身大分から引越しの計画と準備をしている最中に人生のパートナーとご縁を頂き、開園して間もなく新しい生命を宿しました。初めての出産である上に実家は県外、その上、コロナ流行の真っただ中での妊娠・出産だったので、色々なことが不安だったことを覚えています。里帰り出産をするか否か。開園初年度なので、職員や保護者に迷惑がかかり過ぎないように、産休・育休をいつまで取るか。産後から復帰までのサポートをどのように受けるか。考え出せばキリがありませんでした。

1年の間に結婚・引越し・妊娠・新規開園を一气に迎えた私は、ありがたくも無事に元気な子を出産することが出来ました。その時に産休・育休を取って一番感じたのは、社会から切り離された孤独感でした。今まで自分のために使っていた自由な時間が無くなり、2〜3時間おきに繰り返される授乳とおむつ交換で睡眠不足になり、産後のマミーブルーにより記憶力や集中力が低下し、ホルモンバランスが大きく変化する中でメンタルを保つ難しさを身にしみて感じている中、自宅で誰ともかかわることなく育児をする毎日、「世の中の人たちはこの間も仕事をしたりお出かけしたりしてるんだなあ」と世間から取り残された感じがしました。自分の食事を用意するのも一苦労だったので、保育園の入園申込書に記載されている「産休明けサポート事業」や「産後ケア事業」「産後ヘルパー事業」など、頼れるものはすべて申し込み、利用しました。しかし、派遣できる保育士が確保できるかどうか予約確定するまでに時間を要したり、コロナ禍で少しでも咳などの症状が出ている場合は利用出来なかったり、そもそも城南区に産後ケアが利用できる施設が一つも無かったりと、思うようにサポートを受けられない日もありました。

そのような経験もあり、昨年の8月に、福岡市の委託事業として城南区で初めての産後ケアが受けられる助産院 *obele house* (ウレイドルハウス) をオープンしました。ここでは、助産師がお母さんの授乳相談に乗ったり、赤ちゃんをお預かりしている間にゆっくりお風呂に入ったたり、仮眠を取ってもらったりしています。保育園の給食と離乳食を母子に提供するスタイルも、全国初の取り組みとして注目して頂いています。今年の4月からデイケアの利用料金も4,000円から2,000円に減免され、さらに利用者が増えてきています。



また、保育園内でも地域活動事業の一環として、地域の子育て家庭の方を対象に『プレママ・プレパパ教室』で沐浴指導やおむつ替えの方法を指導したり、『ベビーマッサージ教室』を開いて母子のアタッチメントを形成する機会を設けたりするイベントを始めました。そして、マスク着用が個人の判断に切り替わり新年度を迎えたこのタイミングで、「地域の方々と一緒にまちぐるみで子育てをしたい」という想いから、園内で初めてマルシェを開催しました。園庭開放して地域の個人店舗さんに出店の協力をして頂き、園児・未就園児関係なくすべての子育て中の親子に参加してもらいたいと企画したもので、たくさんの方が遊びに来てくれました。

今更ながら保育ふくおかのデータ化の取り組みが始まりました。紙の削減といった物理的なコスト面以上に、編集委員の業務のスリム化や負担軽減を念頭に置いたものです。今後の委員会活動を持続可能なものにしていく重要な第一歩と考えています。

さて、この記事が見られる頃には福岡市の保育協会関係者は九州三団体研究会大会を直前に控え、慌ただしくしているはずですが、すでに現在(6月中旬)でも準備の先生方は忙しさのピークを迎えつつあります。コロナ禍で一度中止になり、満を持して迎える今回の九州保育三団体の研修・研究大会。青年部時代に全国の先生と交流を持つ中で、わかったことがあります。「みんな、そんなに福岡にきたいんだ(笑)」

僕らが北海道や沖縄に行きたいと思うように、日本各地の保育関係者も福岡市で保育について学び、美味しいものが食べたいのです。という訳で、今回担当となった身としては、大会を成功させ、各地からの参加者にも満足していただき、福岡市と官民一体となったイベントにしたいです。よね。この機関紙編集委員のメンバーの多くも、裏方としてこの大会に関わっています。研修・講演・交流会と、どの部門も充実した内容になるよう知恵を出し合い、すべて終わった後の打ち上げを楽しみに頑張っています。魅力ある都市・福岡に暮らす者の宿命として、今年の夏は忙しくも充実したものになることを願っています。

機関紙編集委員 古賀 (高美台保育園)

～感想やご意見はこちらにお送りください～

【保育協会メールアドレス】 kyoukai@hoiku.or.jp

編集後記